

ナンバリング	B③06	科目名	教育実習(幼稚園Ⅱ)
担当形態	複数	担当教員	池谷 潤子・伊藤 恵里子・井上 裕美子 大澤 ちづる・久保 瑤子・郷家 史芸 古賀 琢也・小木曾 友則・由田 新
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館		
開講時期	通年	単位数・ 授業形態	3単位 実習
到達目標	<p><子ども理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園において、子どもがどのように学び、生活をし、どう成長を遂げるのかなどその背景を含めて具体的に考察する。その理解にもとづき、幼児と適切に関わることができる。 <p><職務の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の援助と、その基となる保育観や意図を理解する。 <p><園の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのかかわり、地域の幼児教育のセンターとしての使命など、様々な支援を理解する。 <p><保育の過程の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の過程を理解し、保育の計画立案、実践、自己評価、改善を試行することができる。この過程を通し、保育に必要な基礎的技術や情報機器の活用を身につける。 <p><自己課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して自己の良さや課題、価値観などに気づく。 		
授業の概要	本実習は、幼稚園教諭免許状を取得するために必要な実習の1つであり、3週間という長期に亘って実施されます。実習としては続くステップとなります。子ども理解、職務理解に加え、保護者への支援についても学びます。各自の実習課題をきちんと意識して臨むことが必要となります。		
授業計画			
準備学習	教育実習(実習指導)の受講および実習園からの課題(必要時間 60分)。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事前指導で立てた目標の達成状況、実習の取り組み状況 — 40% ・実習記録 — 30% ・実習園からの評価 — 30% <p>※単位認定の前提として、実習事前事後指導を学修している事が条件となる。</p>		
参考文献	「幼稚園教育要領」文部科学省 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府		

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を規定時間行うことが必要となりますが、規定時間を満たしたとしても、実習の状況等により、単位の修得ができない場合があります。 ・教育実習(幼稚園Ⅰ)の単位を修得していない場合、履修出来ません。 			
課題へのフィードバック方法	実習記録は必要に応じてコメントを記入して返却します。			
卒業・免許状・資格との関連	卒業	幼稚園教諭免許状	必修	教育実践に関する科目
	その他	保育士資格		
実務経験のある教員等による授業内容	<p>(池谷) 国外保育園での勤務経験を活かし、実際の課題はどんなものか、その解決への取り組み方法、また、その際の問題点などに触れ、より実践的な授業を行う。</p> <p>(大澤) 国内外の幼稚園教諭経験があり、発達支援を目的とした音楽療法についても経験を有する</p> <p>(郷家) 認定こども園での勤務経験を活かし、子どもの遊びに関して深く考察し、実践的に授業を行います。</p>			